

## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年7月28日

上場会社名 株式会社日本エム・ディ・エム 上場取引所 東  
コード番号 7600 URL https://www.jmdm.co.jp/  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 弘中 俊行  
問合せ先責任者(役職名) IR室長 (氏名) 棟近 信司 (TEL) 03-3341-6705  
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,402	7.5	346	△30.5	337	△30.2	177	△47.3
2023年3月期第1四半期	5,027	10.8	498	△10.1	483	△10.7	336	△7.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,209百万円(△20.7%) 2023年3月期第1四半期 1,524百万円(321.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	6.74	—
2023年3月期第1四半期	12.75	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	29,920	24,157	80.2
2023年3月期	29,434	23,292	78.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 24,009百万円 2023年3月期 23,161百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,800	8.1	800	△13.7	750	△18.2	450	△37.6	17.11
通期	23,300	9.3	2,500	23.5	2,400	17.4	1,500	5.4	57.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	26,475,880株	2023年3月期	26,475,880株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	175,165株	2023年3月期	175,107株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	26,300,759株	2023年3月期1Q	26,383,701株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
販売実績	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は5,402百万円（前年同四半期比375百万円増、同7.5%増）、営業利益346百万円（前年同四半期比152百万円減、同30.5%減）、経常利益337百万円（前年同四半期比146百万円減、同30.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益177百万円（前年同四半期比159百万円減、同47.3%減）となりました。なお、連結売上高に占める自社製品売上高の割合は、80.1%（前年同四半期は80.1%）となりました。

日本国内では、2023年4月に実施された償還価格引下げによる影響があったものの、獲得症例数が伸長したことにより、売上高は3,055百万円（前年同四半期比121百万円増、同4.1%増）（「収益認識に関する会計基準」の適用による、販売促進費の一部控除後）となりました。米国では、昨年開拓した新規顧客基盤が成長に貢献し、人工膝関節製品の獲得症例数が伸長しました。結果、米国の外部顧客への売上高は16百万USドル（前年同四半期比0.7百万USドル増、同4.8%増）と拡大し、円換算後は円安の影響により2,347百万円（前年同四半期比253百万円増、同12.1%増）となりました。（ご参考：前年同四半期の米国売上の換算レートは1USドル129.05円、当第1四半期は同138.11円）

日本国内人工関節分野は、新型コロナウイルス感染症が5類に変更されたことにより症例数が徐々に増加しており、「Entrada」の売上が2桁成長と好調に推移し、人工股関節置換術（THA、BHA）の獲得症例数が伸びたことにより日本国内売上高は1,170百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。

米人工関節分野は、人工膝関節「BKS TriMax」、人工膝関節「BKS Revision Knee」の獲得症例数が伸長したことから、米国売上高は16百万USドル（前年同四半期比4.7%増）と伸び、円換算後では円安の影響により2,338百万円（前年同四半期比12.1%増）となりました。

骨接合材料分野は、「ASULOCK」、「Prima Hip Screw」の売上が市場成長率を上回る2桁成長と順調に推移したことなどから、日本国内の売上高は1,038百万円（前年同四半期比8.1%増）となりました。

脊椎固定器具分野は、日本国内において、「Vusion Ti 3D ケージ」、「Pisces スパイナル システム」などの売上が伸長しました。一方、「KMC Kyphoplasty システム」は、競合他社がBKP（Balloon Kyphoplasty）市場に参入した影響で獲得症例数が減少しました。これらの要因により、本分野での日本国内及び米国の売上高合計は821百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。

売上原価は、円安及び日本国内における償還価格の引下げの影響などにより、売上原価率が35.4%（前年同四半期は33.4%）となりました。販売費及び一般管理費合計は、米国売上の増加に伴い支払手数料（コミッション・ロイヤリティ）が増加したこと、体制強化に伴う人件費などが増加したこと、新製品の研究開発費が増加したこと、米国子会社にて隔年で主催している顧客向けセミナー開催など販促費が増加したこと、また円安の影響により米国で円換算後の費用が増加したことから全体で3,142百万円（前年同四半期比10.3%増）となり、売上高販管費率は58.2%（前年同四半期は56.7%）となりました。

営業利益は、売上高が増加したものの、円安の影響により、売上原価率が上昇したことに加えて販売費及び一般管理費が増加したことで、346百万円（前年同四半期比30.5%減）となりました。

経常利益は、為替差益10百万円など営業外収益を17百万円計上し、持分法による投資損失16百万円など営業外費用を26百万円計上した結果、337百万円（前年同四半期比30.2%減）となりました。

特別損益は、医療工具などの固定資産除却損9百万円、和解関連費用75百万円の84百万円を特別損失に計上しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、上記の結果、前年同四半期比47.3%減の177百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①日本

売上高は3,055百万円（前年同四半期比4.1%増）、営業利益は236百万円（前年同四半期比7.5%減）となりました。

## ②米国

売上高は3,182百万円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益は54百万円（前年同四半期比73.5%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ486百万円増加し、29,920百万円となりました。主な増加要因は、商品及び製品747百万円、原材料及び貯蔵品135百万円、主な減少要因は、現金及び預金361百万円であります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末と比べ379百万円減少し、5,763百万円となりました。主な減少の内訳は、未払法人税等218百万円、賞与引当金144百万円、短期借入金100百万円、訴訟和解引当金100百万円、主な増加は、未払費用278百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ865百万円増加し、24,157百万円となりました。主な増加要因は、為替換算調整勘定907百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期における連結業績予想につきましては、2023年4月28日公表の業績予想から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,804,928	2,443,252
受取手形、売掛金及び契約資産	5,270,930	5,119,970
商品及び製品	9,378,119	10,125,645
仕掛品	593,162	455,306
原材料及び貯蔵品	1,634,044	1,769,377
その他	295,253	464,748
貸倒引当金	△1,358	△1,276
流動資産合計	19,975,079	20,377,025
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	837,544	889,353
機械装置及び運搬具（純額）	306,786	353,731
工具、器具及び備品（純額）	4,600,008	4,641,233
土地	1,956,171	1,959,045
その他	44,246	44,660
有形固定資産合計	7,744,756	7,888,025
無形固定資産	263,037	254,529
投資その他の資産		
投資有価証券	66,770	72,495
関係会社出資金	204,910	205,814
繰延税金資産	1,104,875	1,050,257
その他	75,283	72,843
投資その他の資産合計	1,451,839	1,401,409
固定資産合計	9,459,634	9,543,964
資産合計	29,434,714	29,920,990

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	979,185	911,302
短期借入金	1,046,733	946,300
リース債務	34,553	32,855
未払法人税等	339,245	121,030
未払費用	511,861	790,332
未払金	193,732	136,088
賞与引当金	196,606	52,391
役員賞与引当金	64,510	7,980
事業損失引当金	2,546	2,419
訴訟和解引当金	100,000	—
その他	158,217	230,550
流動負債合計	3,627,191	3,231,250
固定負債		
長期借入金	732,248	676,910
リース債務	58,163	54,402
退職給付に係る負債	1,208,511	1,229,564
役員株式給付引当金	103,514	106,223
資産除去債務	29,493	29,562
長期預り金	8,000	29,000
繰延税金負債	375,495	406,694
固定負債合計	2,515,427	2,532,358
負債合計	6,142,618	5,763,609
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,001,929	3,001,929
資本剰余金	2,587,029	2,587,029
利益剰余金	15,656,266	15,489,551
自己株式	△202,730	△202,792
株主資本合計	21,042,494	20,875,717
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	30,294	133,810
為替換算調整勘定	2,163,161	3,070,980
退職給付に係る調整累計額	△74,317	△71,435
その他の包括利益累計額合計	2,119,138	3,133,355
非支配株主持分	130,462	148,308
純資産合計	23,292,095	24,157,381
負債純資産合計	29,434,714	29,920,990

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	5,027,421	5,402,640
売上原価	1,678,888	1,913,737
売上総利益	3,348,532	3,488,902
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	108,413	112,639
販売促進費	43,816	77,318
広告宣伝費	22,991	20,562
給料及び手当	899,198	963,882
退職給付費用	24,991	26,547
法定福利費	77,815	80,655
福利厚生費	74,979	71,780
貸倒引当金繰入額	△157	△81
旅費及び交通費	55,831	78,757
減価償却費	339,062	330,961
租税公課	36,117	33,512
研究開発費	135,954	182,945
支払手数料	696,827	799,377
その他	334,035	363,653
販売費及び一般管理費合計	2,849,877	3,142,513
営業利益	498,655	346,388
営業外収益		
受取利息	28	25
為替差益	—	10,946
受取手数料	2,844	—
受取保険金	13,220	—
その他	18,926	6,911
営業外収益合計	35,020	17,883
営業外費用		
支払利息	5,751	5,121
為替差損	30,969	—
持分法による投資損失	7,642	16,310
シンジケートローン手数料	2,056	2,086
その他	3,452	3,149
営業外費用合計	49,871	26,668
経常利益	483,803	337,603
特別利益		
事業損失引当金戻入額	6,967	—
特別利益合計	6,967	—
特別損失		
固定資産除却損	12,121	9,410
和解関連費用	—	75,000
特別損失合計	12,121	84,410
税金等調整前四半期純利益	478,649	253,193
法人税、住民税及び事業税	136,306	66,751
法人税等調整額	2,485	6,743
法人税等合計	138,792	73,494
四半期純利益	339,857	179,698
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,347	2,427
親会社株主に帰属する四半期純利益	336,510	177,271

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	339,857	179,698
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	96,486	103,515
為替換算調整勘定	1,084,814	923,237
退職給付に係る調整額	3,486	2,882
その他の包括利益合計	1,184,788	1,029,635
四半期包括利益	1,524,645	1,209,333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,503,182	1,191,488
非支配株主に係る四半期包括利益	21,463	17,845

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,933,867	2,093,553	5,027,421	—	5,027,421
外部顧客への売上高	2,933,867	2,093,553	5,027,421	—	5,027,421
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	855,861	855,861	△855,861	—
計	2,933,867	2,949,415	5,883,282	△855,861	5,027,421
セグメント利益	255,153	206,652	461,806	36,849	498,655

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去36,849千円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 「日本」における顧客との契約から生じる収益は、「収益認識に関する会計基準」の適用により、販売促進費の一部を控除しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,055,337	2,347,303	5,402,640	—	5,402,640
外部顧客への売上高	3,055,337	2,347,303	5,402,640	—	5,402,640
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	835,458	835,458	△835,458	—
計	3,055,337	3,182,762	6,238,099	△835,458	5,402,640
セグメント利益	236,134	54,818	290,953	55,434	346,388

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去55,434千円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 「日本」における顧客との契約から生じる収益は、「収益認識に関する会計基準」の適用により、販売促進費の一部を控除しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. その他

## 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称及び品目		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	前年同四半期比
		金額(千円)	(%)
医療機器類	日本	3,055,337	104.1
	人工関節	1,170,924	103.2
	骨接合材料	1,038,381	108.1
	脊椎固定器具	812,879	99.0
	その他	91,917	105.5
	売上控除	△58,765	—
	米国	2,347,303	112.1
	人工関節	2,338,768	112.1
	脊椎固定器具	8,534	131.3
	合計	5,402,640	107.5
		比率(%)	増減(%)
自社製品売上比率		80.1	0.0

(注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しております。

- 2 「売上控除」は、日本において「収益認識に関する会計基準」を適用したことにより、販売促進費の一部を売上高から控除しておりますが、品目別に合理的な按分ができないため、上表では当該控除額を一括で表示しております。